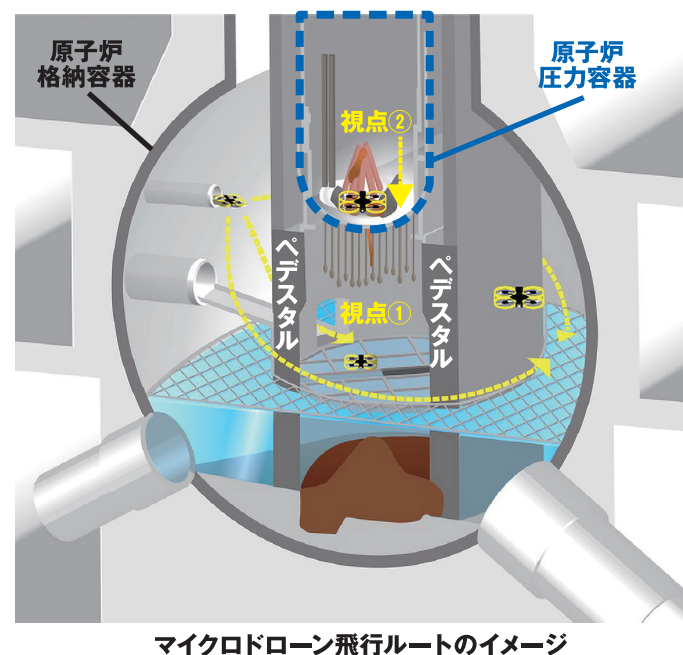


福島第一原子力発電所の廃炉の現状と取組みをお伝えします Vol.59

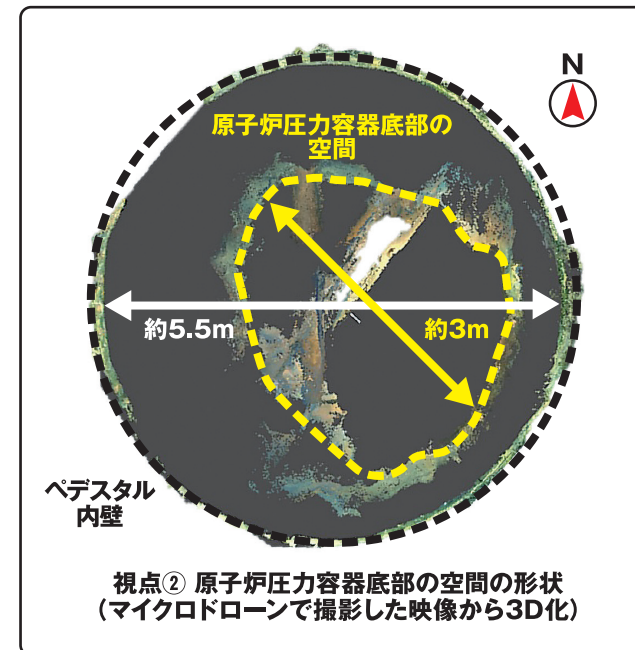
福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを継続的に低減する「廃炉・汚染水・処理水対策」の取組みについてお知らせします。「復興と廃炉の両立」に向けて、廃炉を安全かつ着実に進めてまいります。

3号機原子炉格納容器の内部調査について、マイクロドローンで取得した映像をもとに「内部空間の3D化と線量率の推定」を行いました。

3号機では、本格的な燃料デブリ取り出しに向けて、更なる情報収集をしています。2026年3月にマイクロドローンを使用した原子炉格納容器内部の調査を実施しました。その後、ペDESTAL内側・外側の空間の点群データ化(3D化)や線量率の推定を行いました。得られたデータは、今後の内部調査の計画検討や燃料デブリ取り出し工法の検討に活用します。



視点① ペDESTAL内側
(マイクロドローンで撮影した映像から3D化)



- ▶3D化したデータから、原子炉圧力容器底部の空間は楕円形で、最大直径は約3mと推定しました。
- ▶線量率は、原子炉圧力容器の底部付近が高く、堆積物や付着物が主な線源と推定しています。



3D化した映像の解説動画



原子炉格納容器内部調査についてはこちらをご覧ください
▶[3号機原子炉格納容器(PCV)内部気中部調査(マイクロドローン調査)について]
https://www.tepco.co.jp/decommission/information/committee/roadmap_progress/pdf/2026/d260827_23-j.pdf



3号機における取組みについてはこちらをご覧ください
▶[燃料デブリポータルサイト]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/fuel-debris/?nuclear03&investigation6>



東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22